

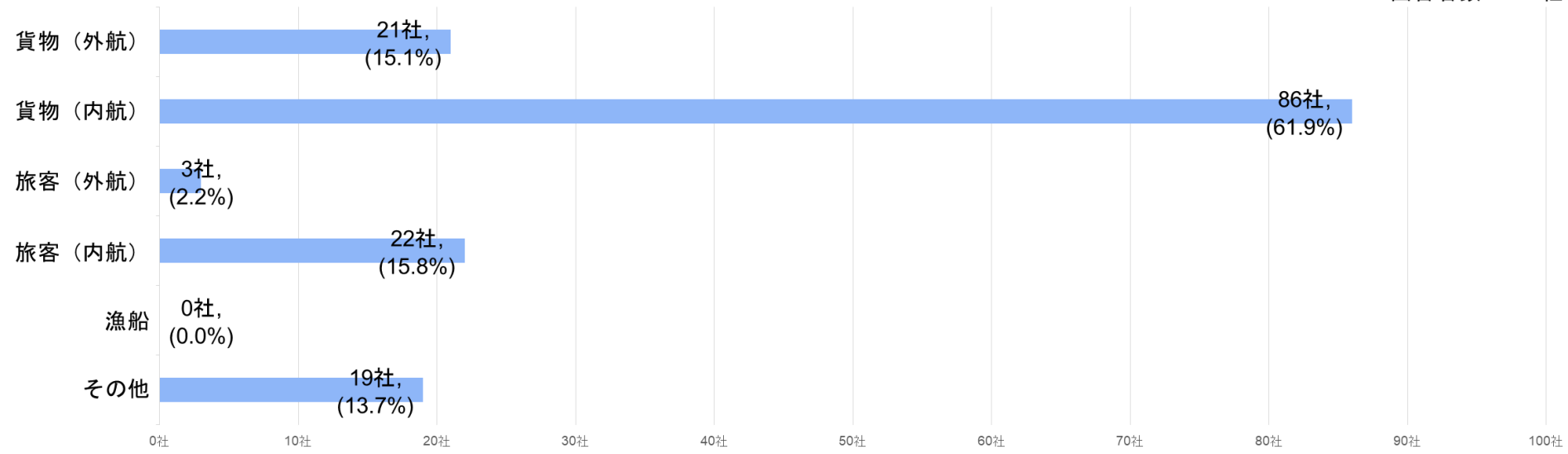
議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

【別紙1】

(3) アンケート結果(その1)

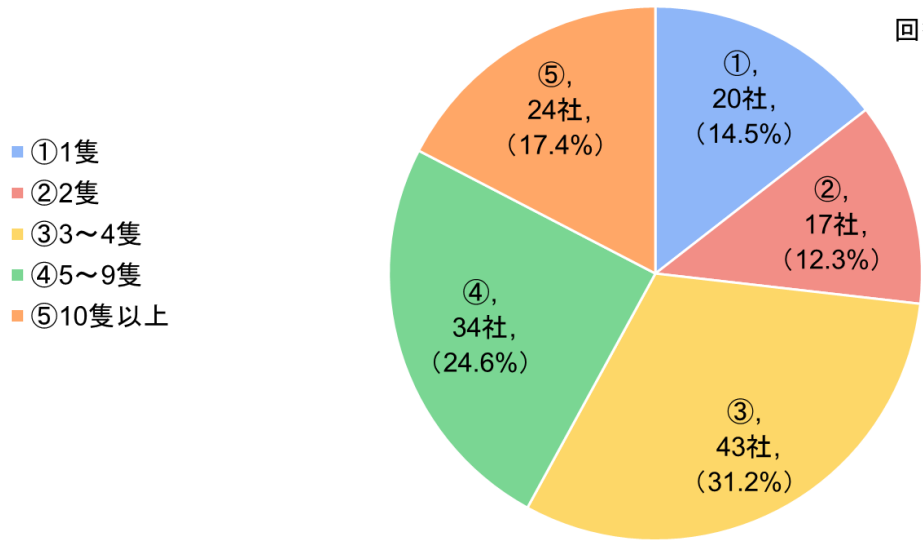
質問1. 船員を配乗・雇用管理されている船舶について該当するものを選択して下さい（複数選択可）

回答者数：139社



質問2. 船員を配乗・雇用管理されている船舶の隻数は何隻ですか。該当するものを選択してください。

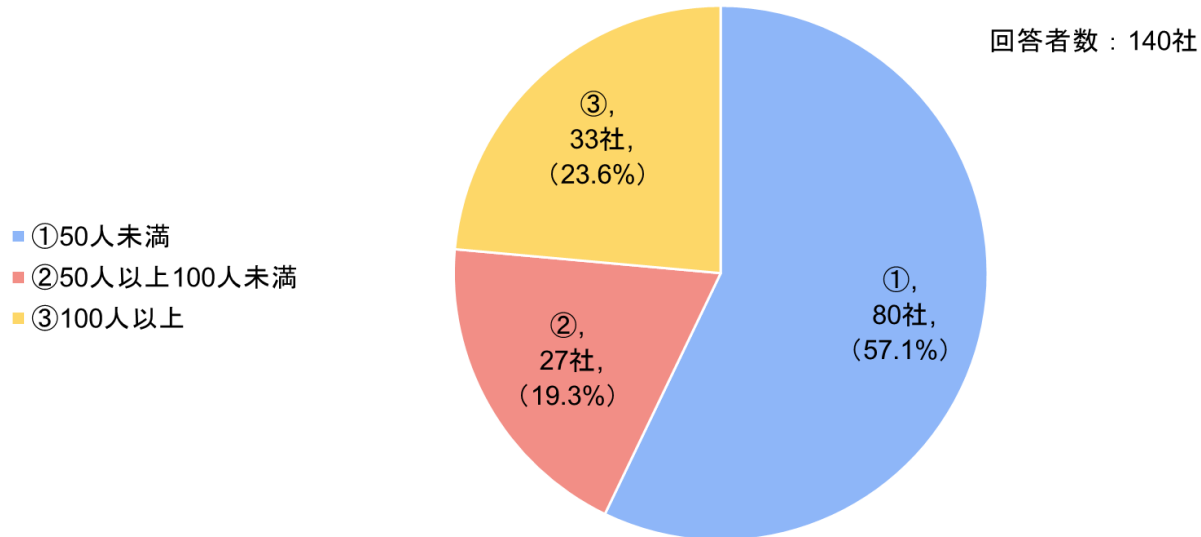
回答者数：138社



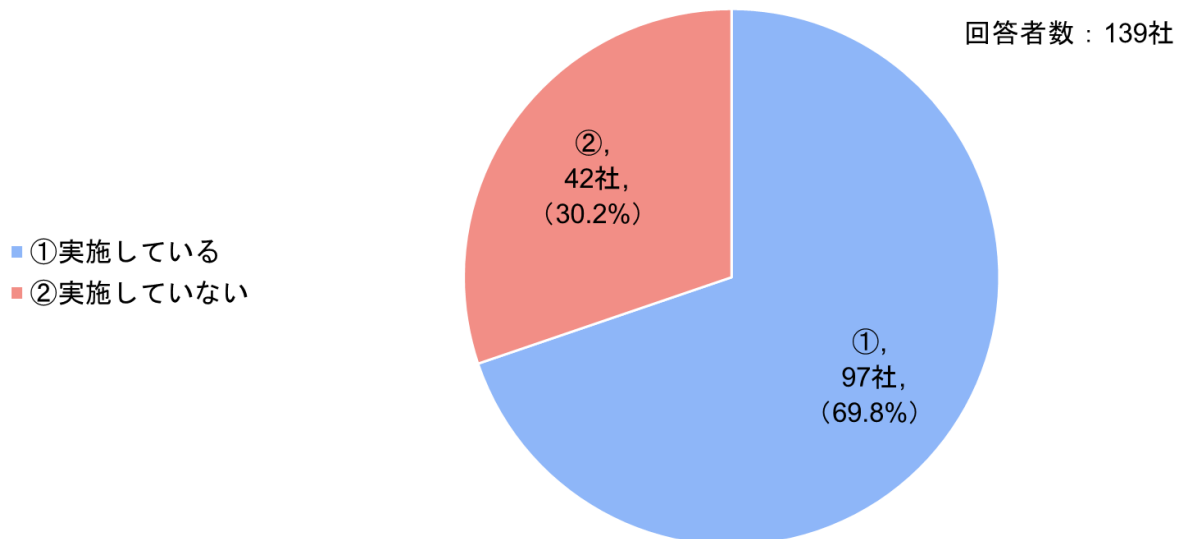
議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その2)

質問 3. 2022（令和4）年7月1日現在において、配乗・雇用管理されている船員は何人ですか。
該当するものを選択してください。



質問 4. 御社では、海陸間の通信を活用した船員の健康管理を実施していますか。
該当するものを選択して下さい。

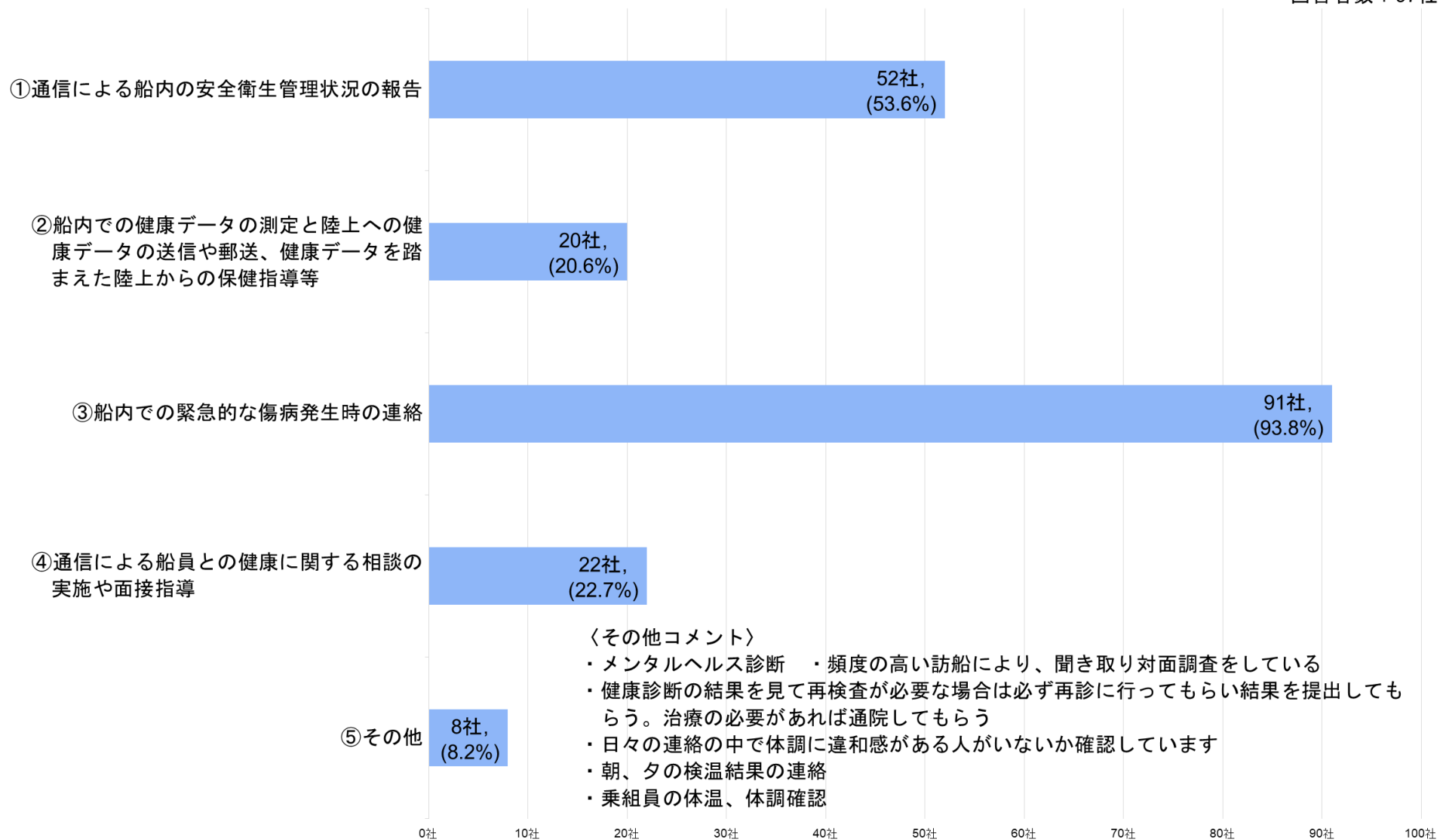


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その3)

質問5. 質問4で「実施している」と回答した方にお伺いします。御社では海陸間の通信を活用してどのような健康管理を行っていますか。該当するものを選択して下さい。（複数選択可）

回答者数：97社

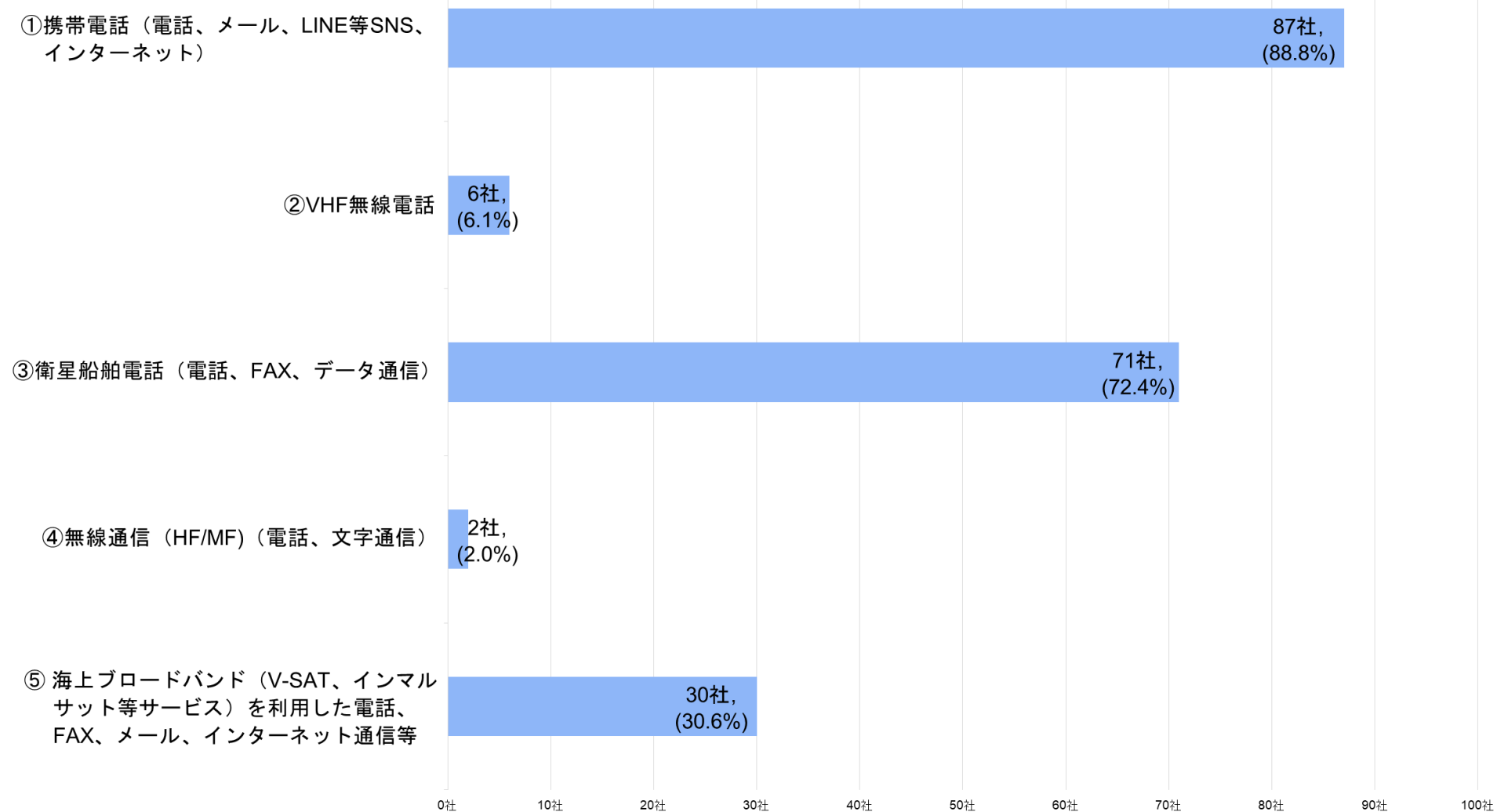


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その4)

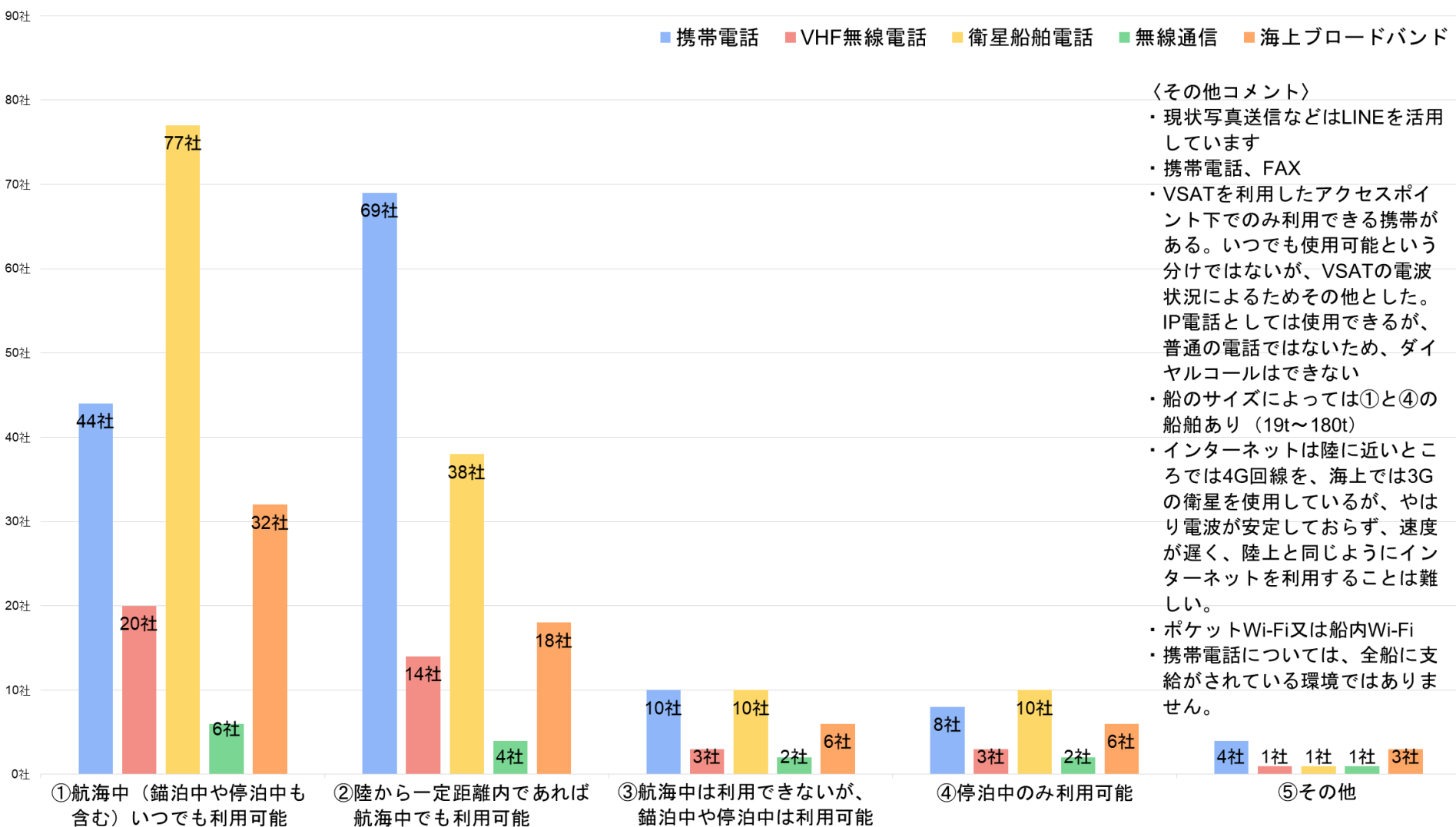
質問 6. 質問 4 で「実施している」と回答した方にお伺いします。御社では海陸間における船員の健康管理に関連した連絡に用いる通信手段としてどのようなものがありますか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：98社



議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

質問 7. 質問 6 で具体的な通信手段を選択された方にお伺いします。御社では、選択された通信手段を利用する環境が整っていますか。該当するものを選択してください。（複数選択可）



〈その他コメント〉

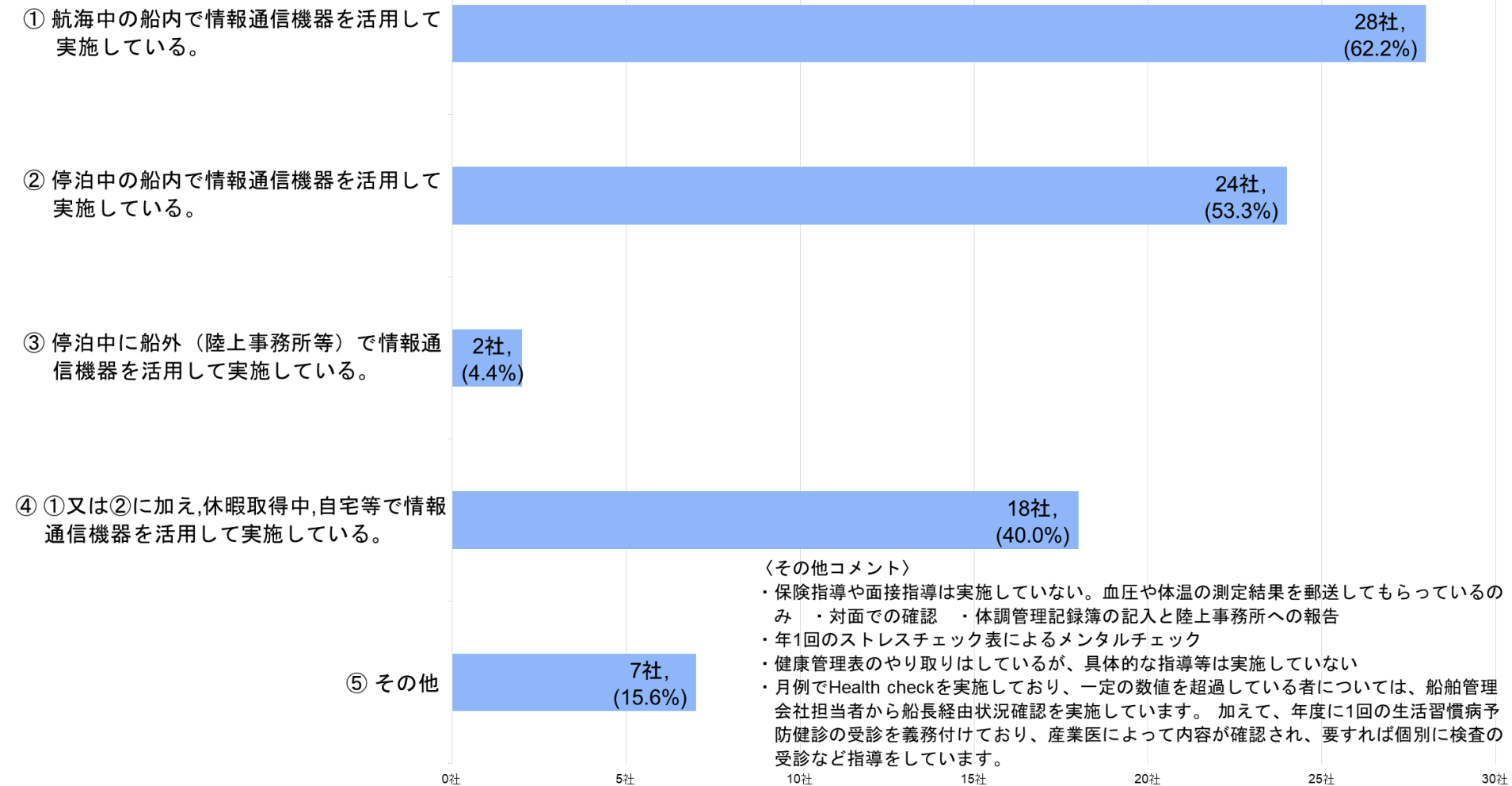
- ・現状写真送信などはLINEを活用しています
- ・携帯電話、FAX
- ・VSATを利用したアクセスポイント下でのみ利用できる携帯がある。いつでも使用可能という分けではないが、VSATの電波状況によるためその他とした。IP電話としては使用できるが、普通の電話ではないため、ダイヤルコールはできない
- ・船のサイズによっては①と④の船舶あり（19t～180t）
- ・インターネットは陸に近いところでは4G回線を、海上では3Gの衛星を使用しているが、やはり電波が安定しておらず、速度が遅く、陸上と同じようにインターネットを利用することは難しい。
- ・ポケットWi-Fi又は船内Wi-Fi
- ・携帯電話については、全船に支給がされている環境ではありません。

議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その6)

質問 8. 質問 5 で「②船内での健康データの測定と陸上への健康データの送信や郵送、健康データを踏まえた陸上からの保健指導等」又は「④通信による船員との健康に関する相談の実施や面接指導」を選択された方にお伺いします。御社では船員の健康確保における保健指導や面接指導についてはどのような方法で実施されていますか。該当するものを選択して下さい。（複数選択可）

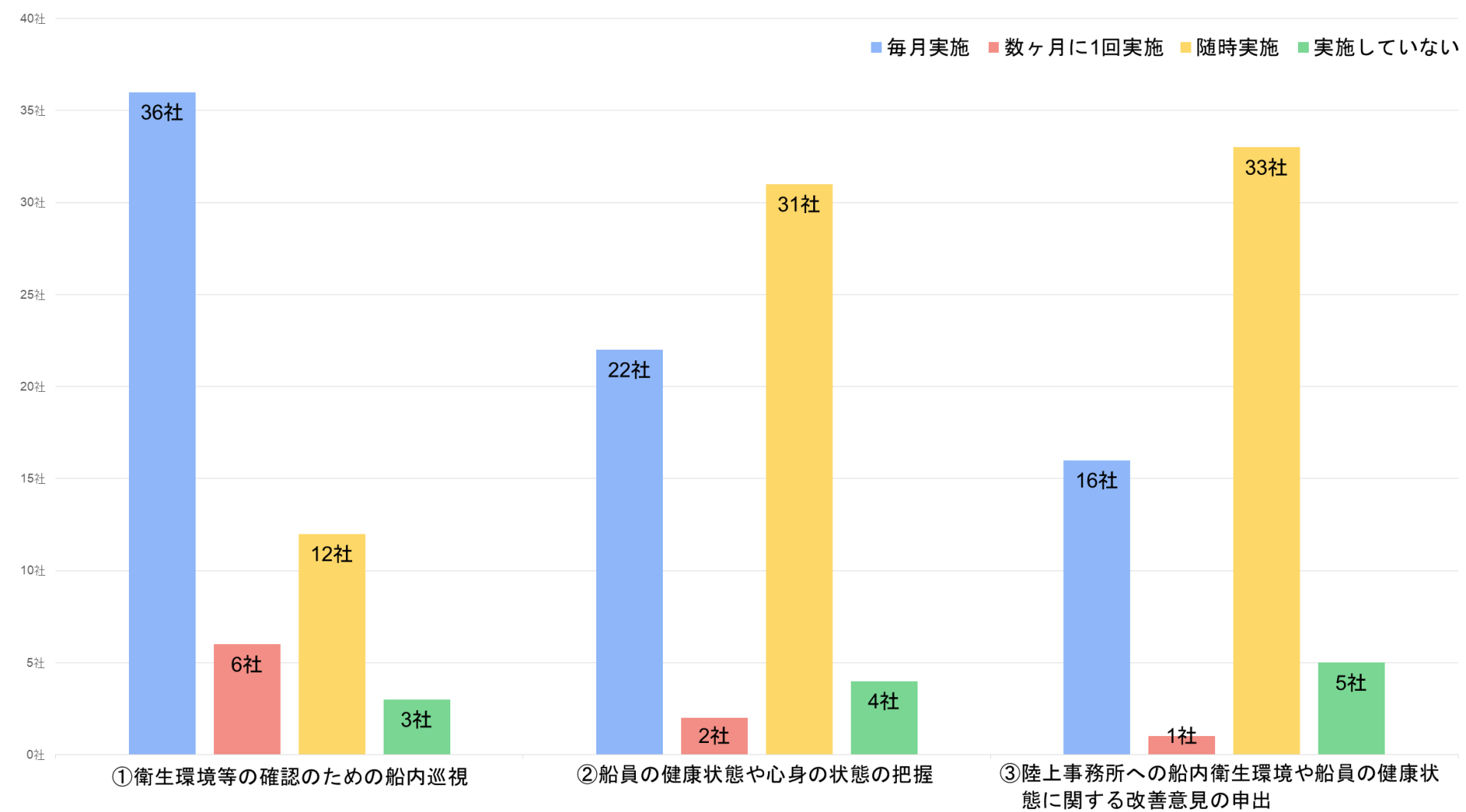
回答者数：45社



議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その7)

質問 9. 質問 5 で「①通信による船内の安全衛生管理状況の報告」を選択された方にお伺いします。御社では、衛生管理者又は衛生担当者による船内での船員の衛生管理に関する活動について、どの程度の頻度で行うようにしていますか。該当するものを選択して下さい。（複数選択可）

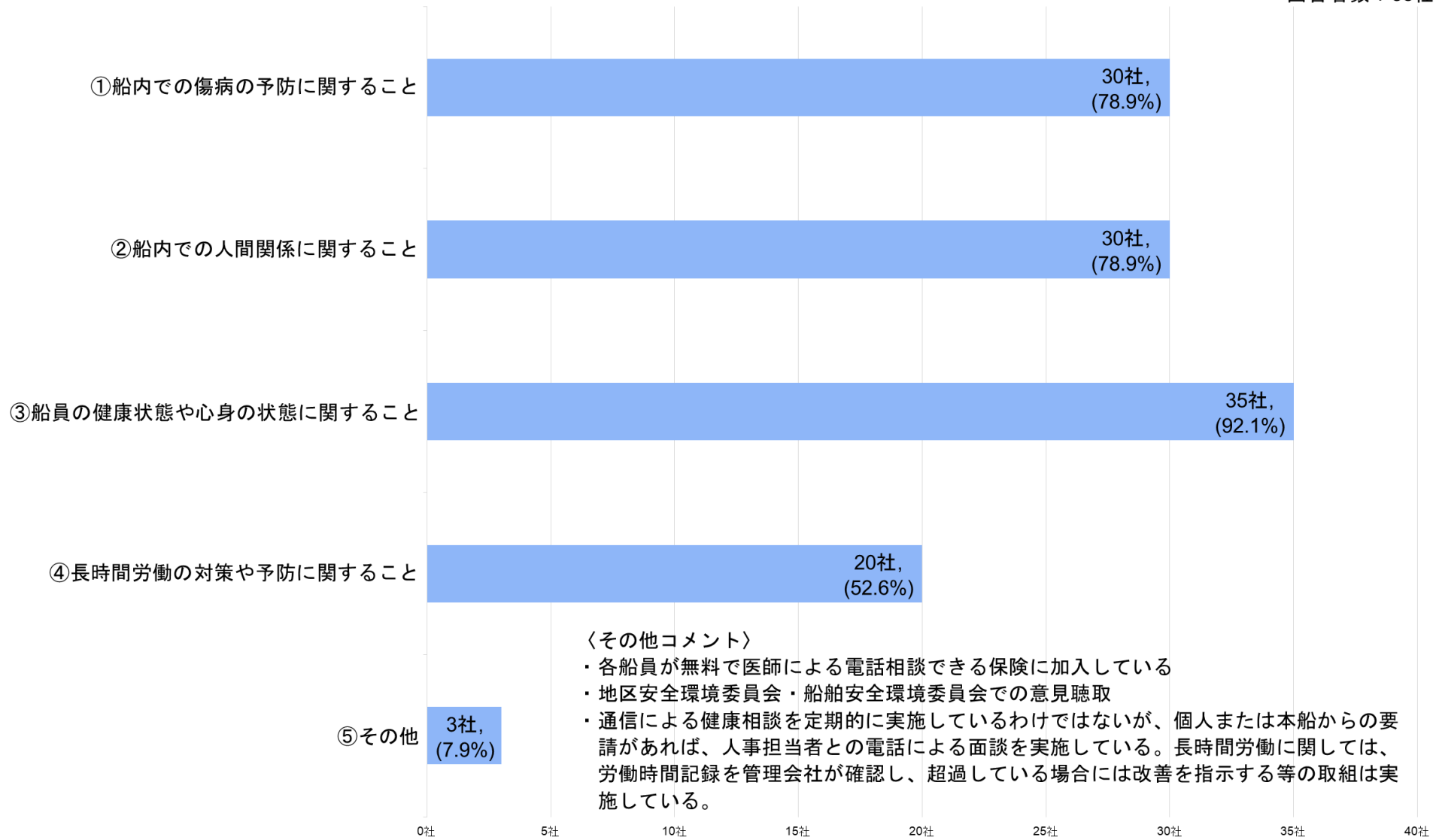


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その8)

質問10. 質問5で「④通信による船員との健康に関する相談の実施や面接指導」を選択された方にお伺いします。
御社の相談や面接指導はどのような内容ですか。該当するものを選択して下さい。（複数選択可）

回答者数：38社

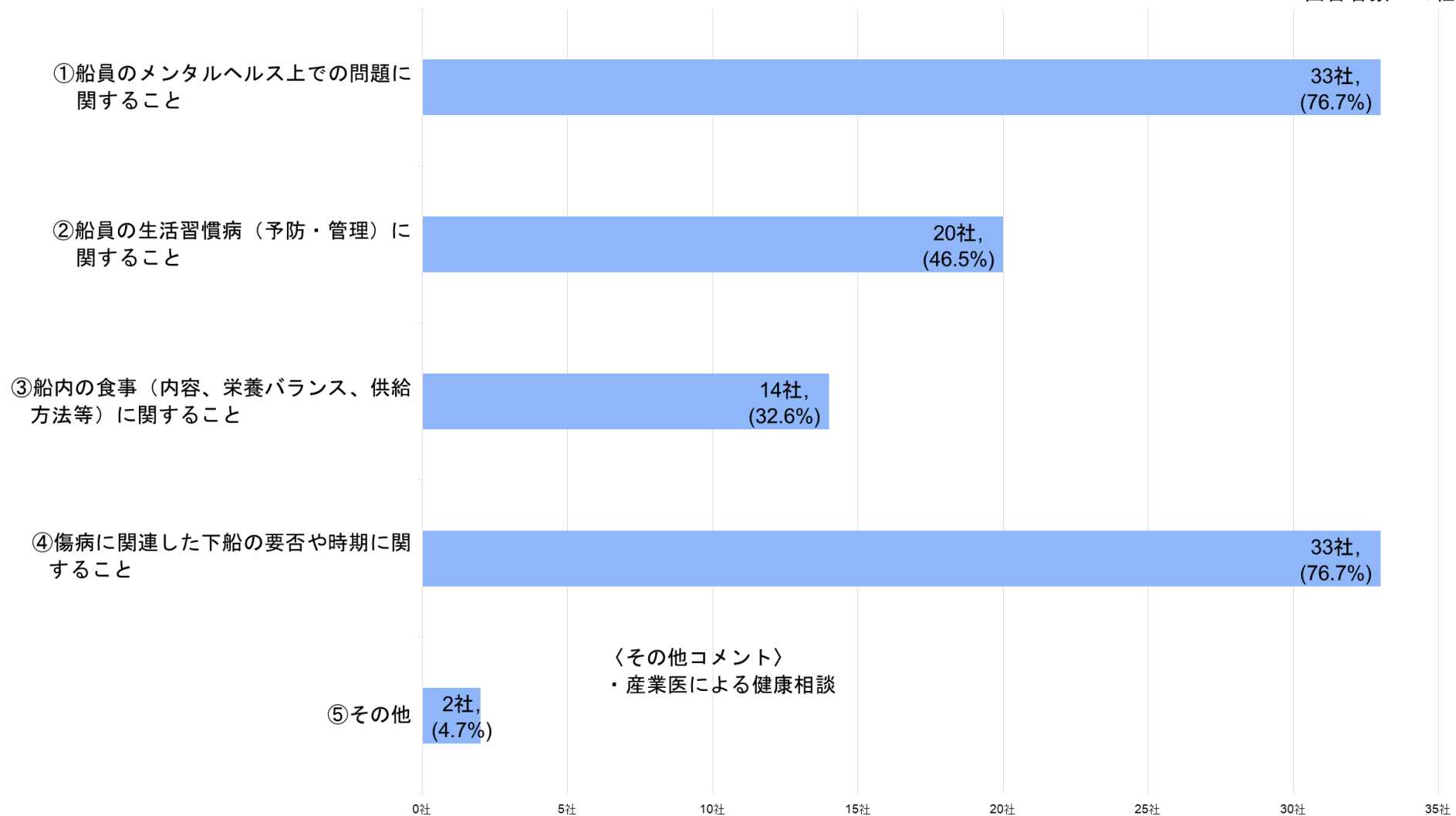


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その9)

質問11. 質問10で「③船員の健康状態や心身の状態に関すること」を選択された方へお伺いします。
御社がこれまでに受けた相談や実施した面接指導はどのような内容でしたか。
該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：43社

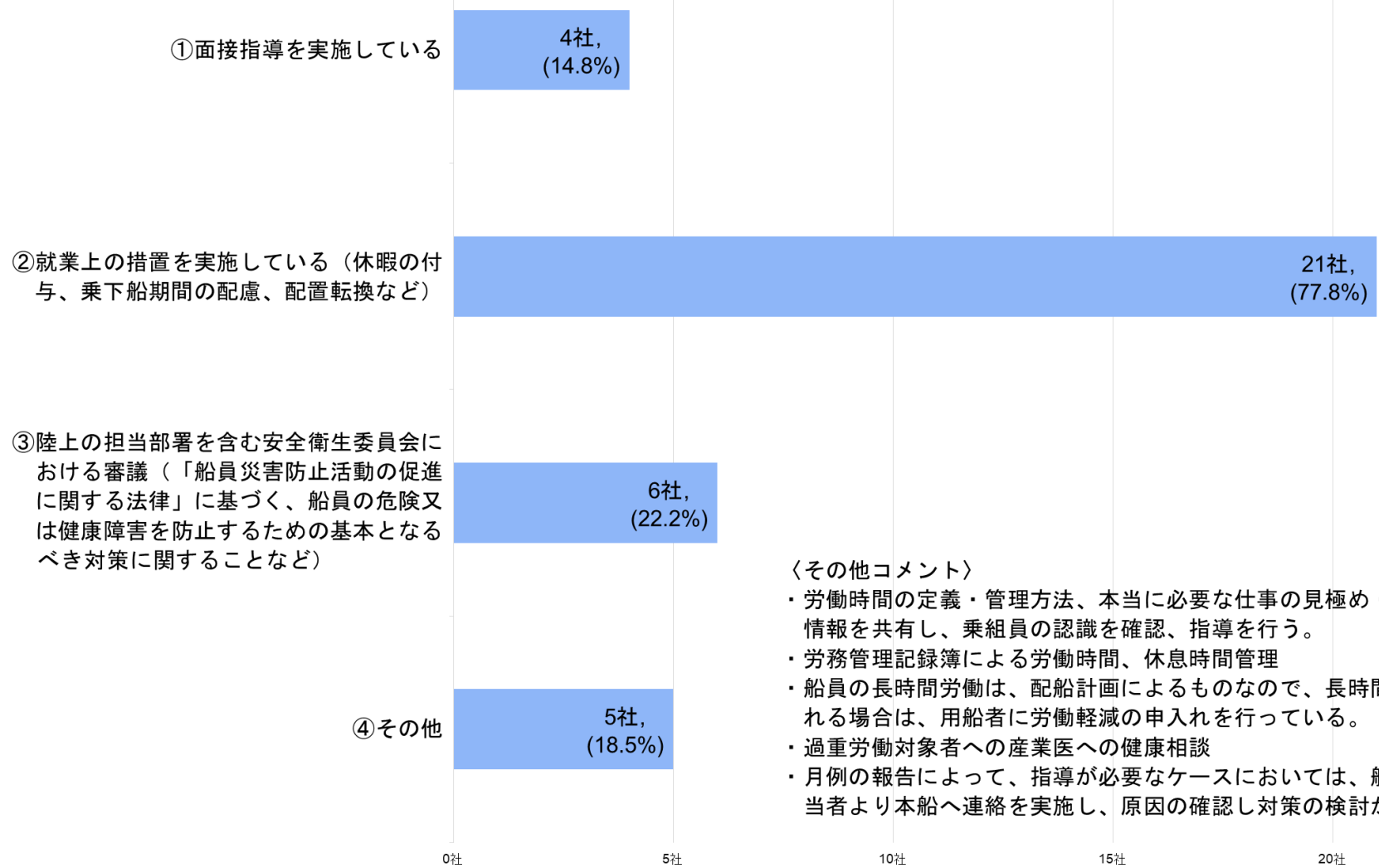


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その10)

質問12. 質問10で「④長時間労働の対策や予防に関すること」を選択された方へお伺いします。
御社の過重労働対策はどのようなものですか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：27社



〈その他コメント〉

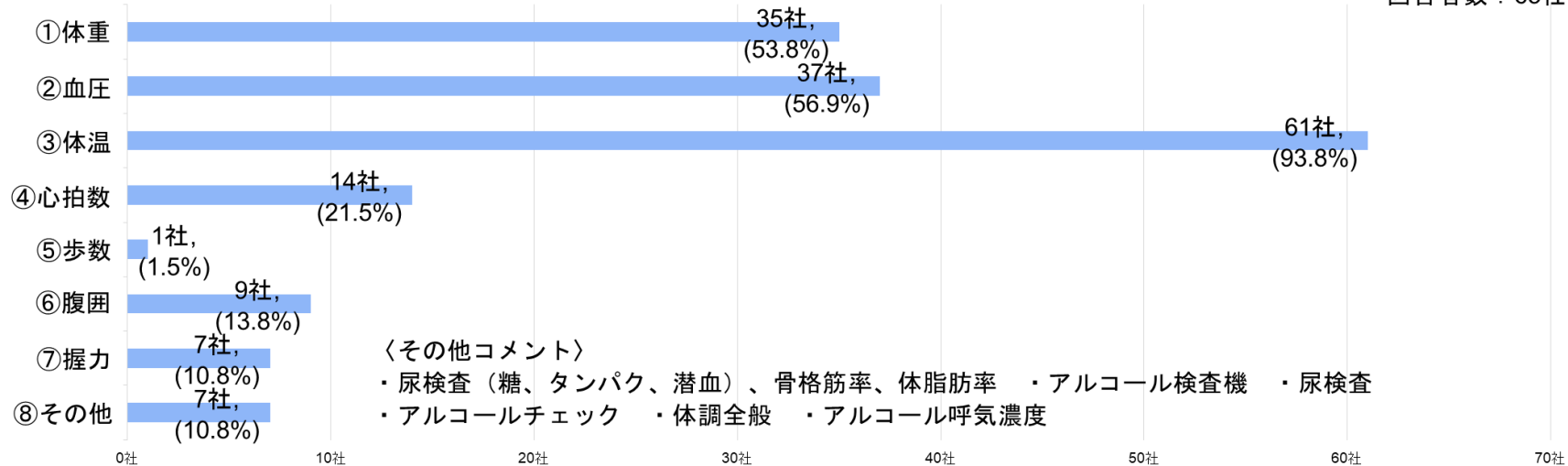
- ・労働時間の定義・管理方法、本当に必要な仕事の見極め・優先順位など情報を共有し、乗組員の認識を確認、指導を行う。
- ・労務管理記録簿による労働時間、休息时间管理
- ・船員の長時間労働は、配船計画によるものなので、長時間労働が予想される場合は、用船者に労働軽減の申入れを行っている。
- ・過重労働対象者への産業医への健康相談
- ・月例の報告によって、指導が必要なケースにおいては、船舶管理会社担当者より本船へ連絡を実施し、原因の確認し対策の検討がなされている。

議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その11)

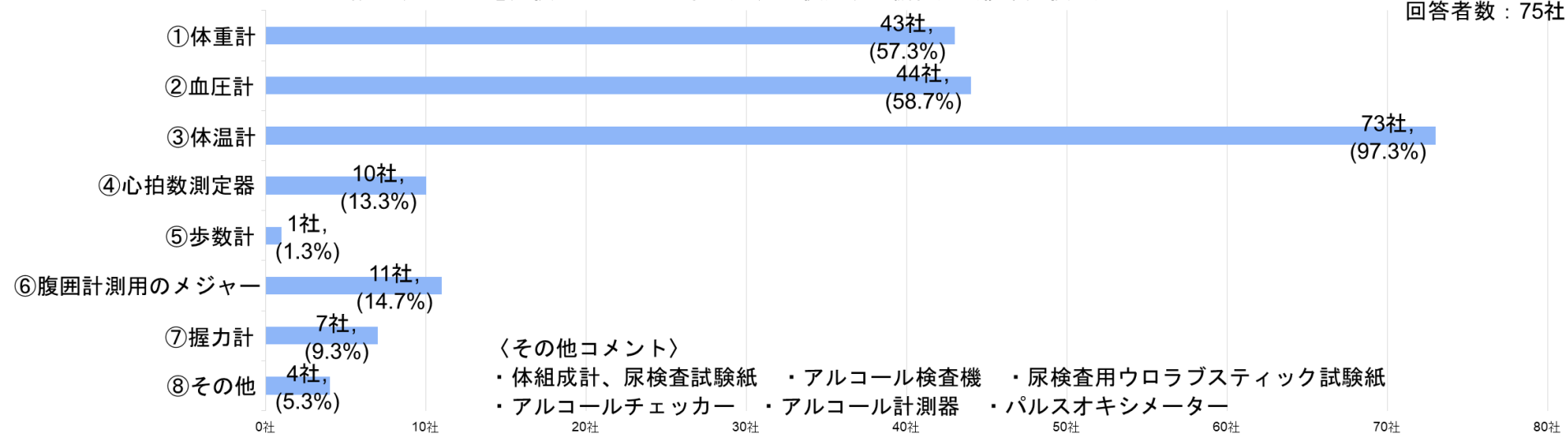
質問13. 御社では船内で測定している事項や、測定に使用する機器としてどのようなものがありますか。

回答者数：65社



質問13. 御社では船内で測定している事項や、測定に使用する機器としてどのようなものがありますか。
 該当するものを選択してください。（測定に使用する機器）（複数選択可）

回答者数：75社

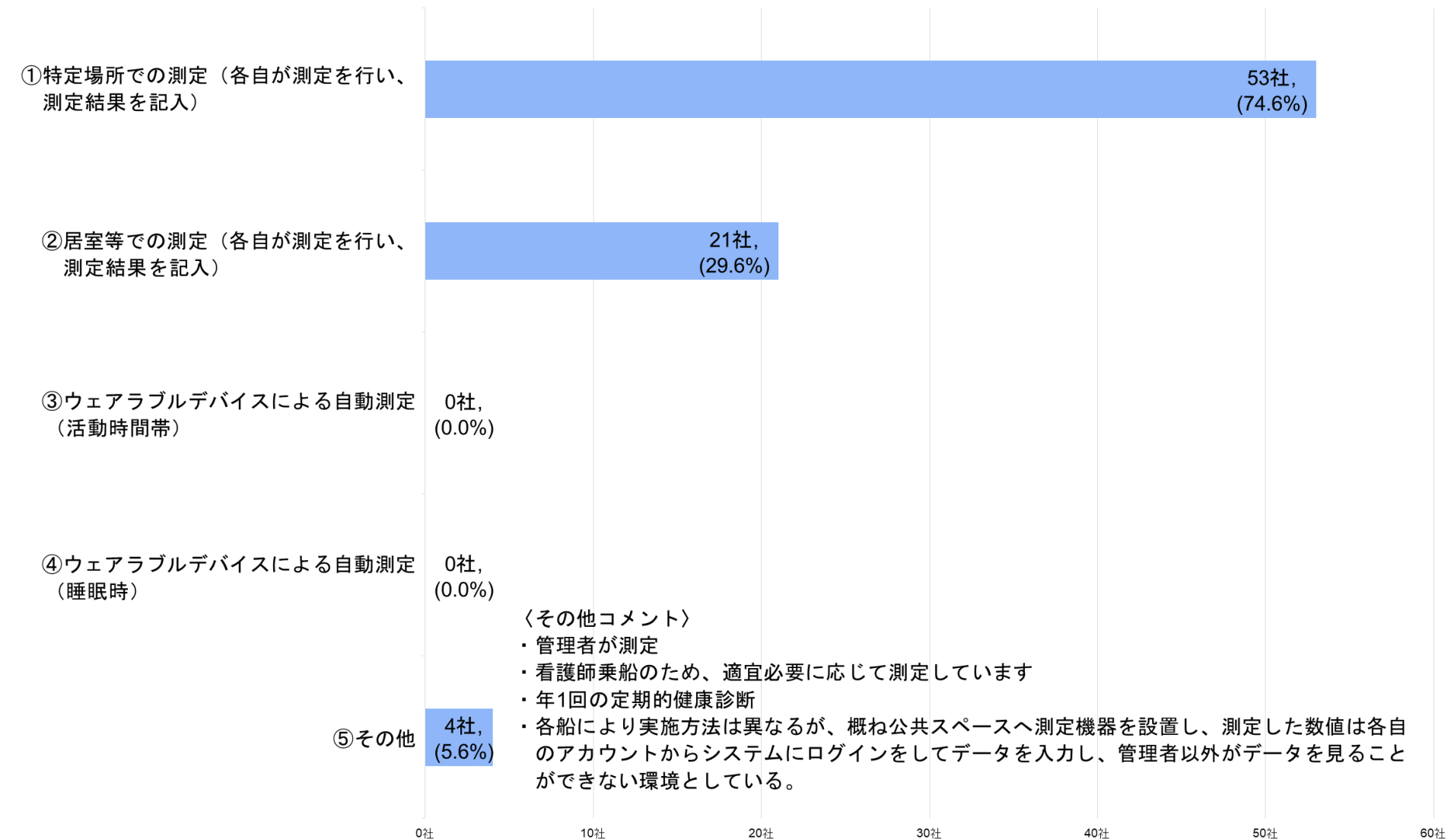


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その12)

質問14. 御社では船内での測定方法はどのようなものがありますか。
該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：71社



議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その13)

質問15. 質問14で「③ウェアラブルデバイスによる自動測定（活動時間帯）」を選択された方へお伺いします。
測定事項にはどのようなものがありますか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：1社

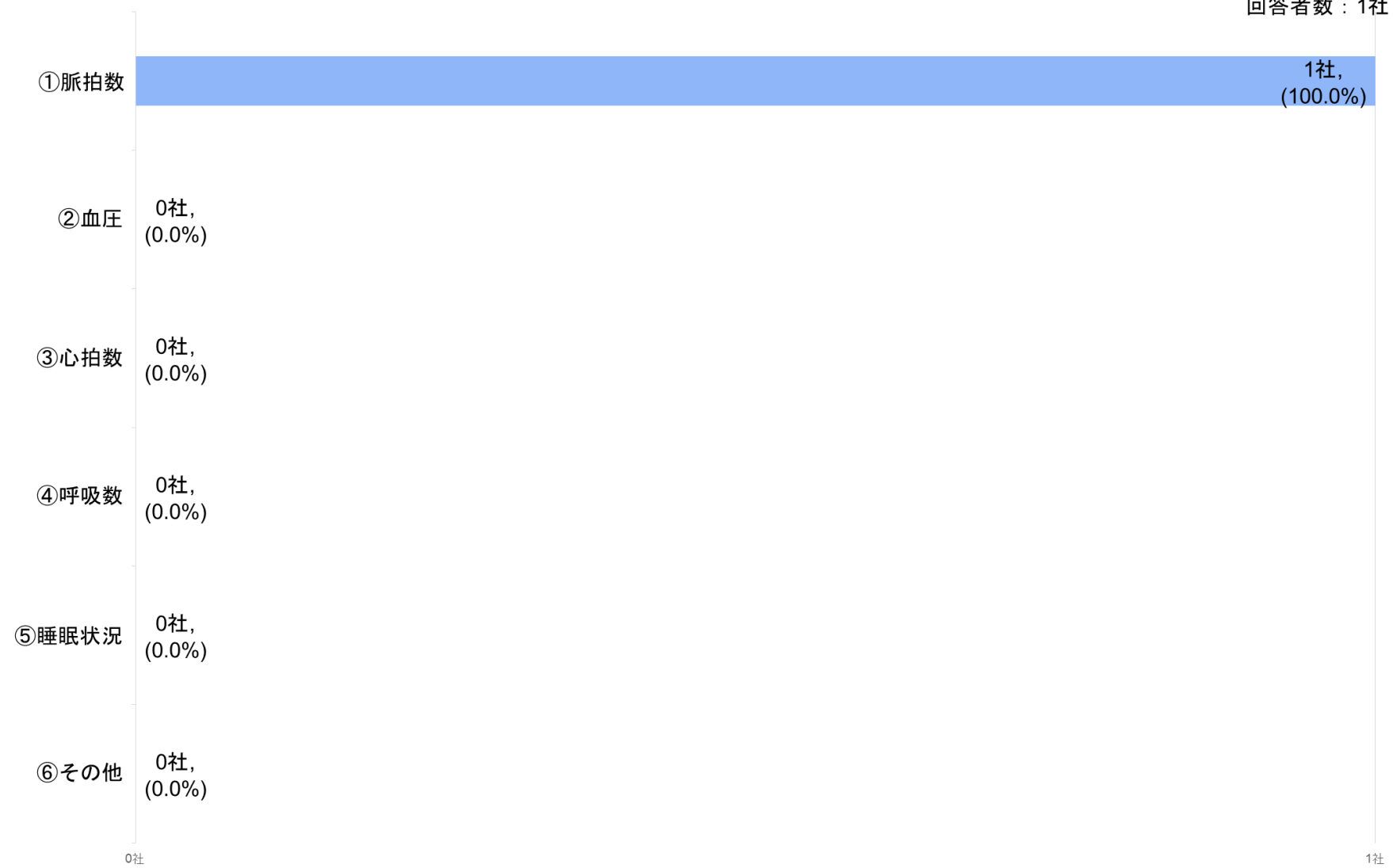


議題1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その14)

質問16. 質問14で「④ウェアラブルデバイスによる自動測定（睡眠時）」を選択された方へお伺いします。
測定事項にはどのようなものがありますか。該当するものを選択してください。

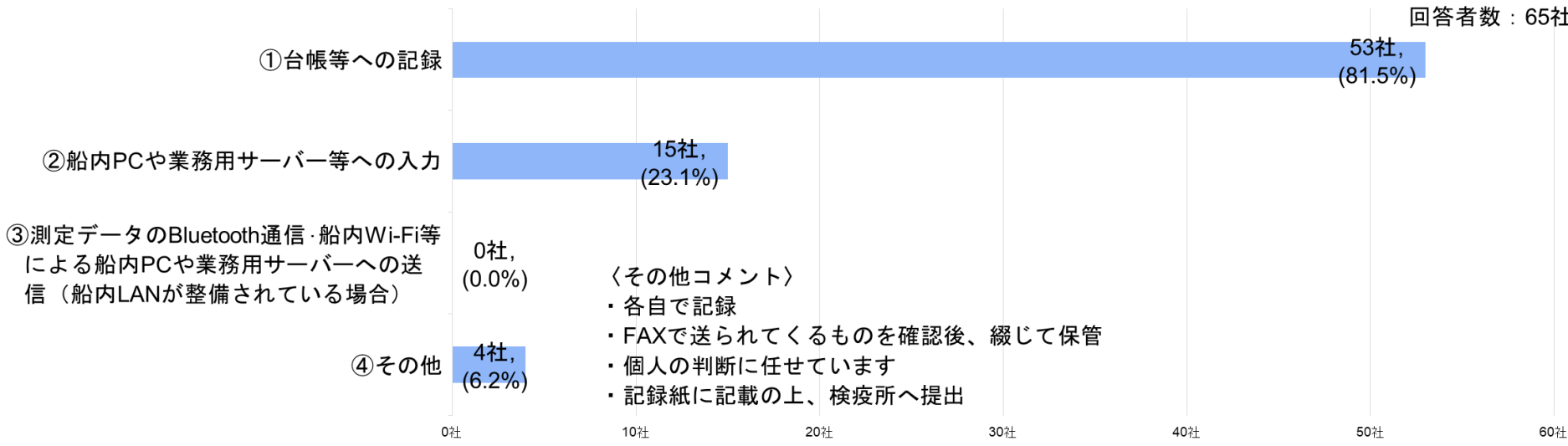
回答者数：1社



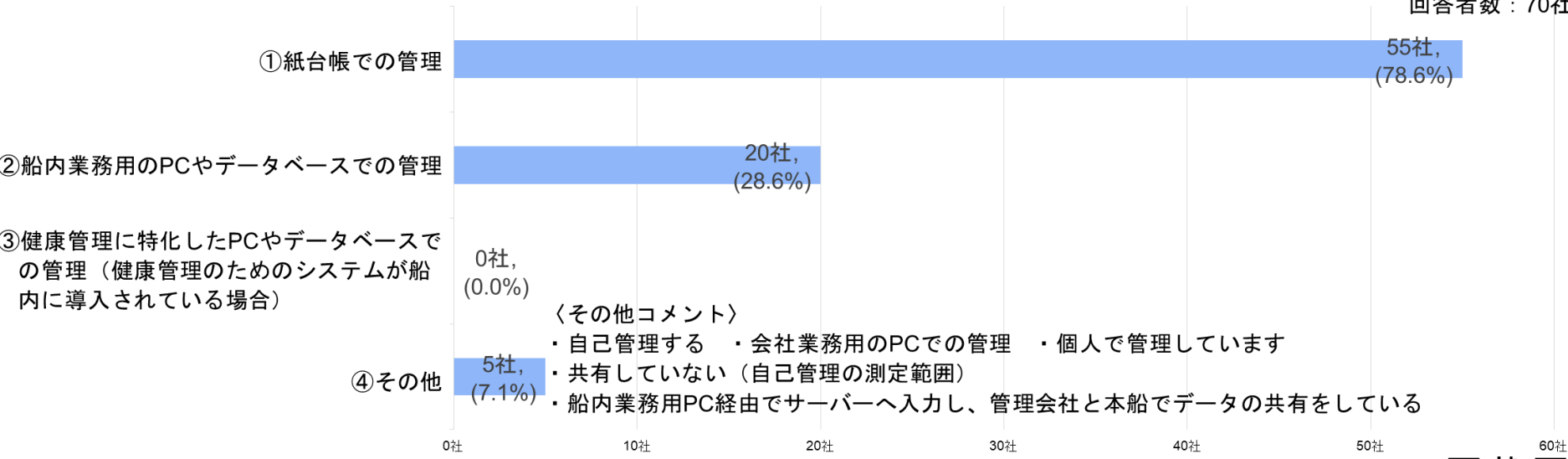
議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その15)

質問17. 御社では船内における測定データの記録方法とデータ管理はどのような方法で実施していますか。該当するものを選択してください。（測定データの記録方法）（複数選択可）



質問17. 御社では船内における測定データの記録方法とデータ管理はどのような方法で実施していますか。該当するものを選択してください。（データ管理）（複数選択可）

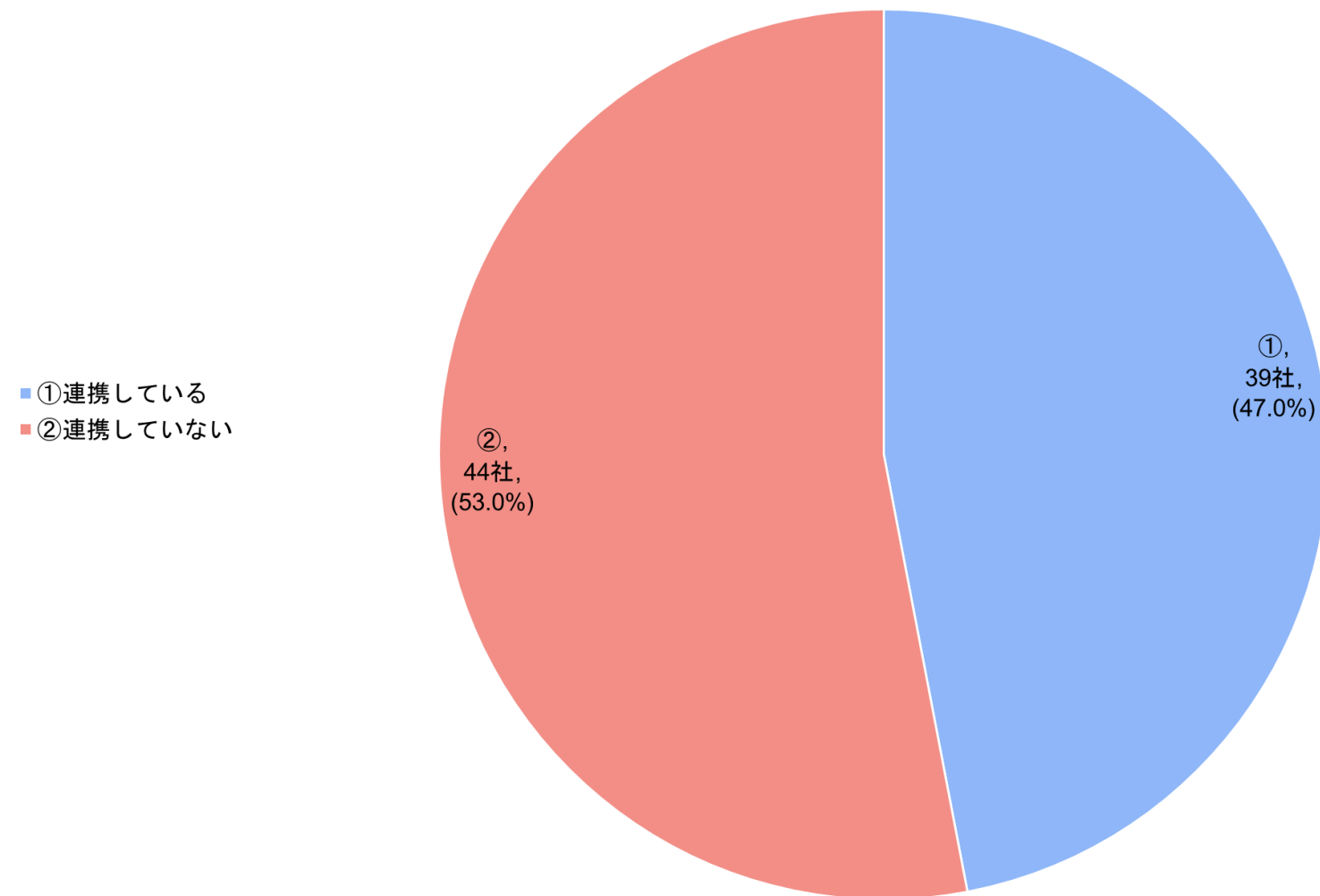


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その16)

質問18. 船内での健康データの測定に関する船員と船社間等での連携はありますか。
該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：83社

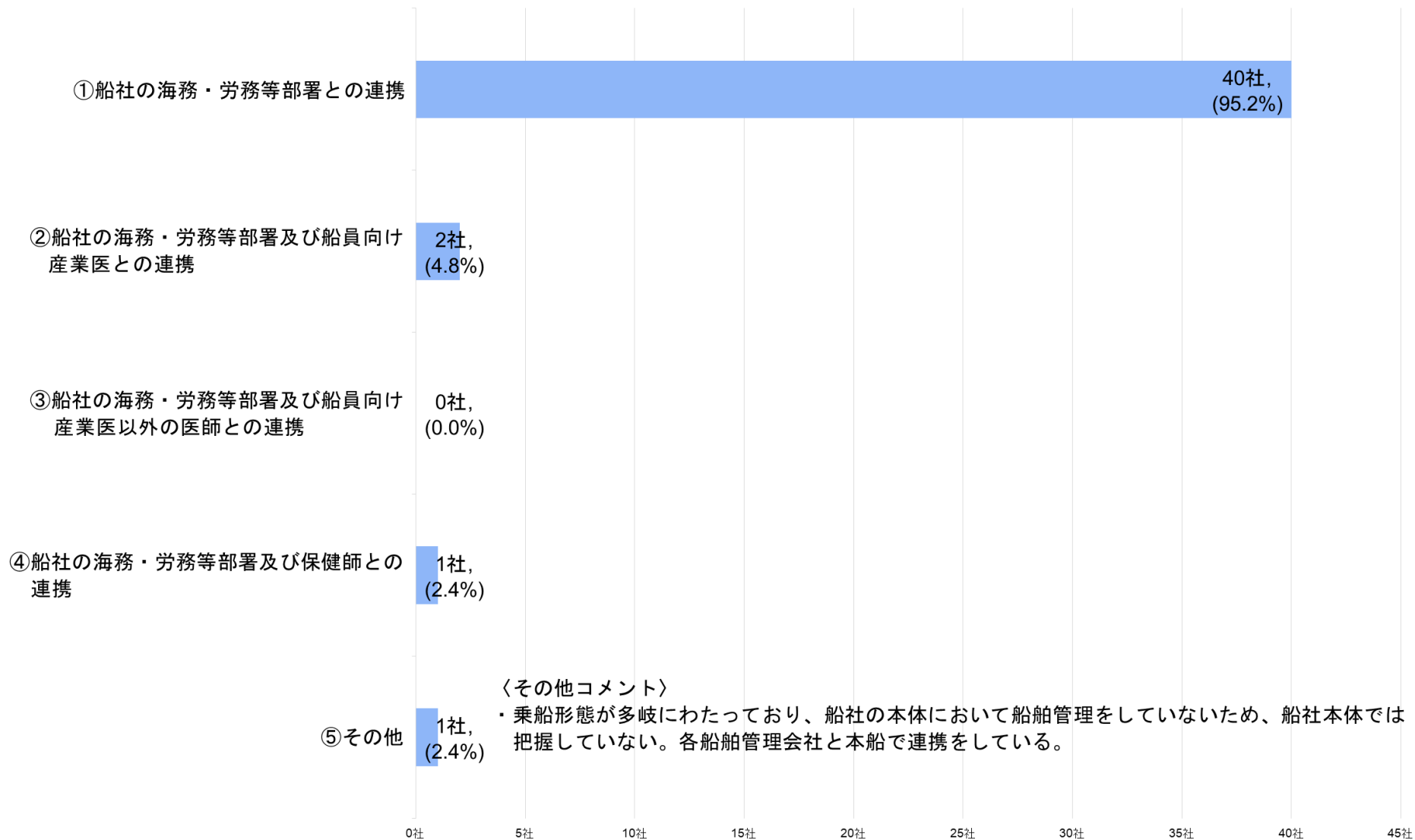


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その17)

質問19. 質問18で「連携している」を選択された方へお伺いします。船員と船社間等との連携先はどなたですか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：42社

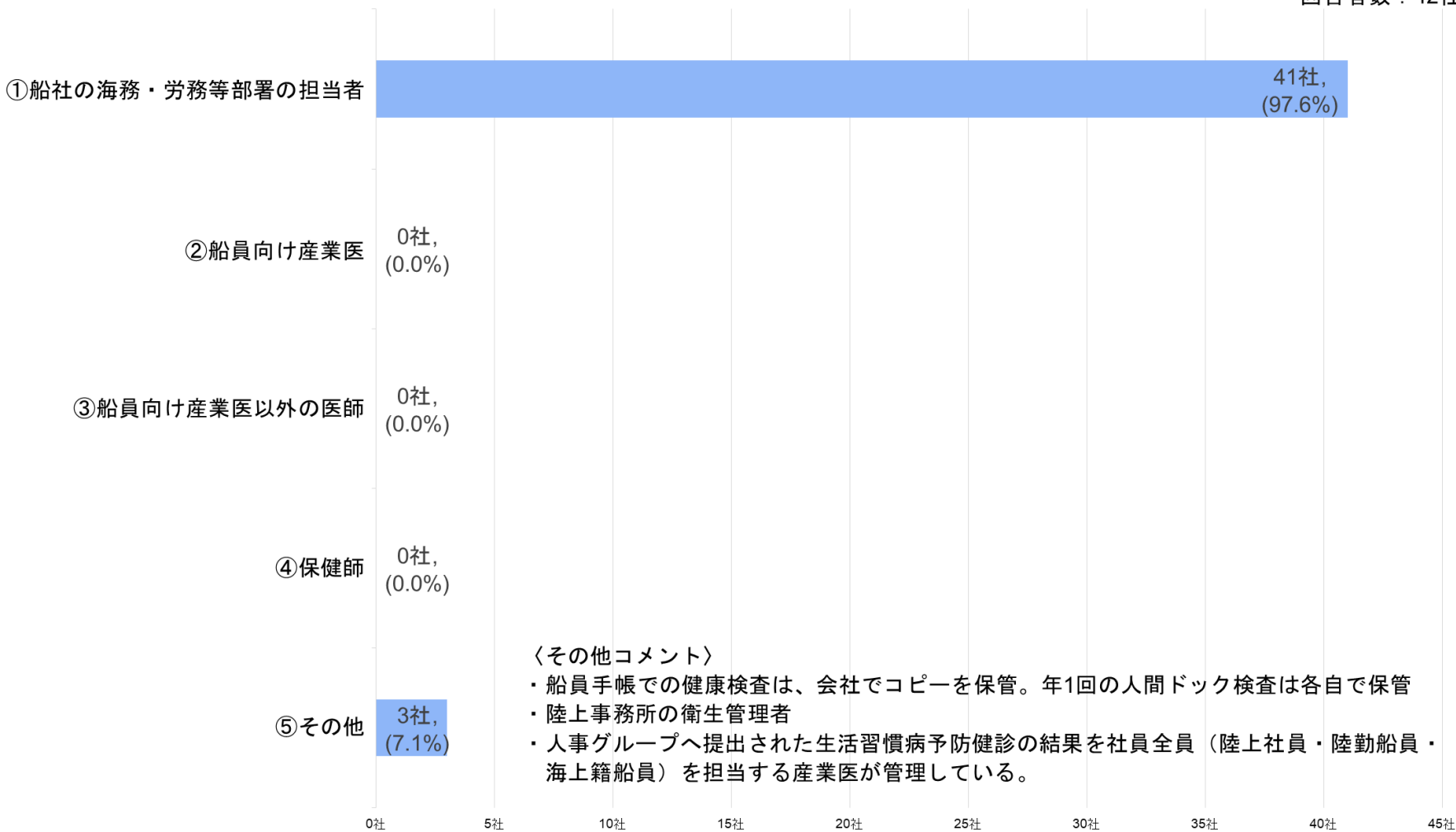


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その18)

質問20. 質問18で「連携している」を選択された方へお伺いします。2023年4月施行予定の改正法令では常時使用する船員が健康検査を受けたときは、当該船員に、医師の診断結果が記載された書面又はその写しを提出させなければならないとされています。現在、健康検査に係る個人情報はどなたが管理していますか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：42社

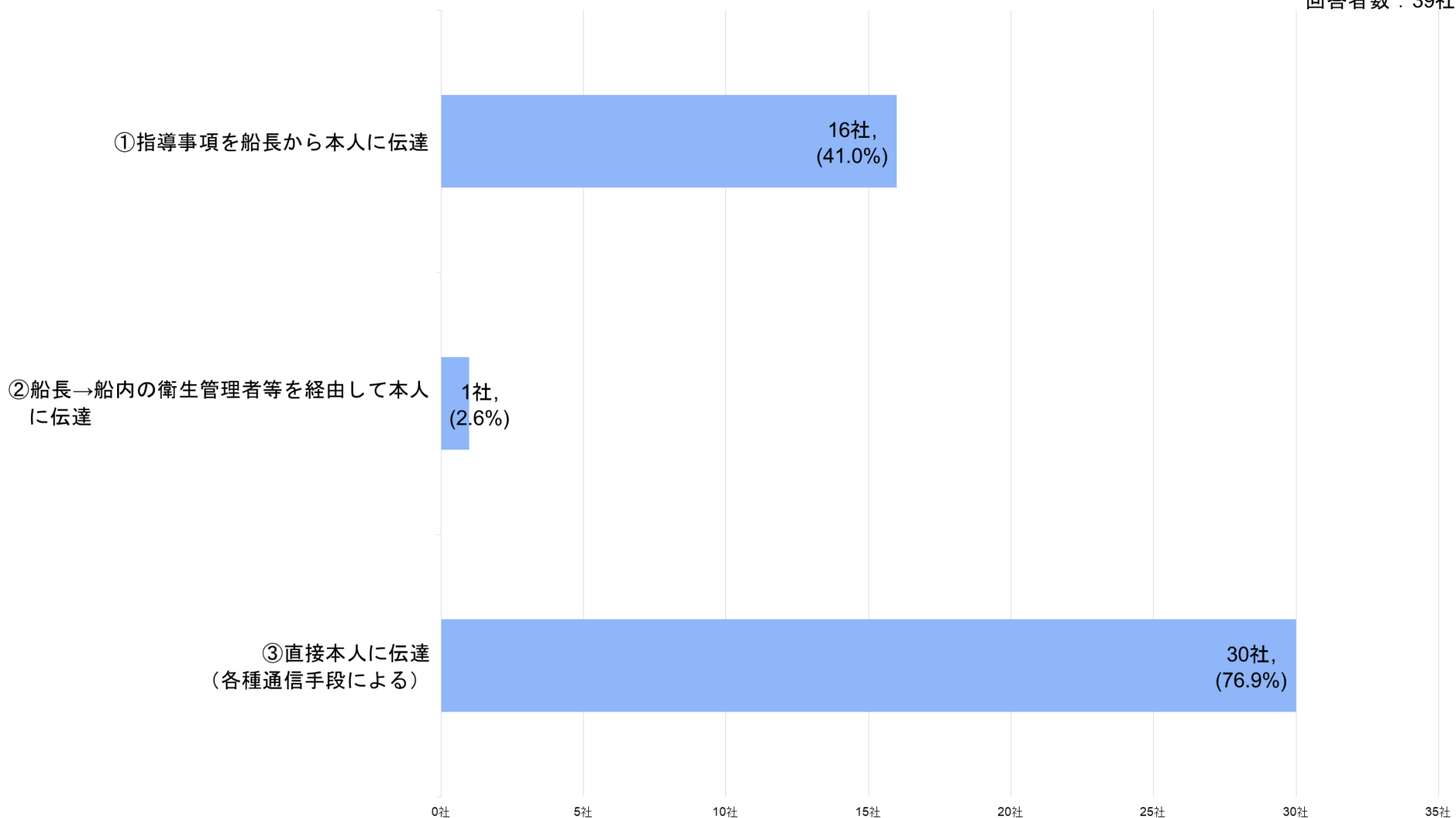


議題1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その19)

質問21. 質問18で「連携している」を選択された方へお伺いします。御社では、質問20で選択した個人情報の管理者から本船側に連絡や健康に関する指導等を行う場合、伝達方法にはどのようなものがありますか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：39社

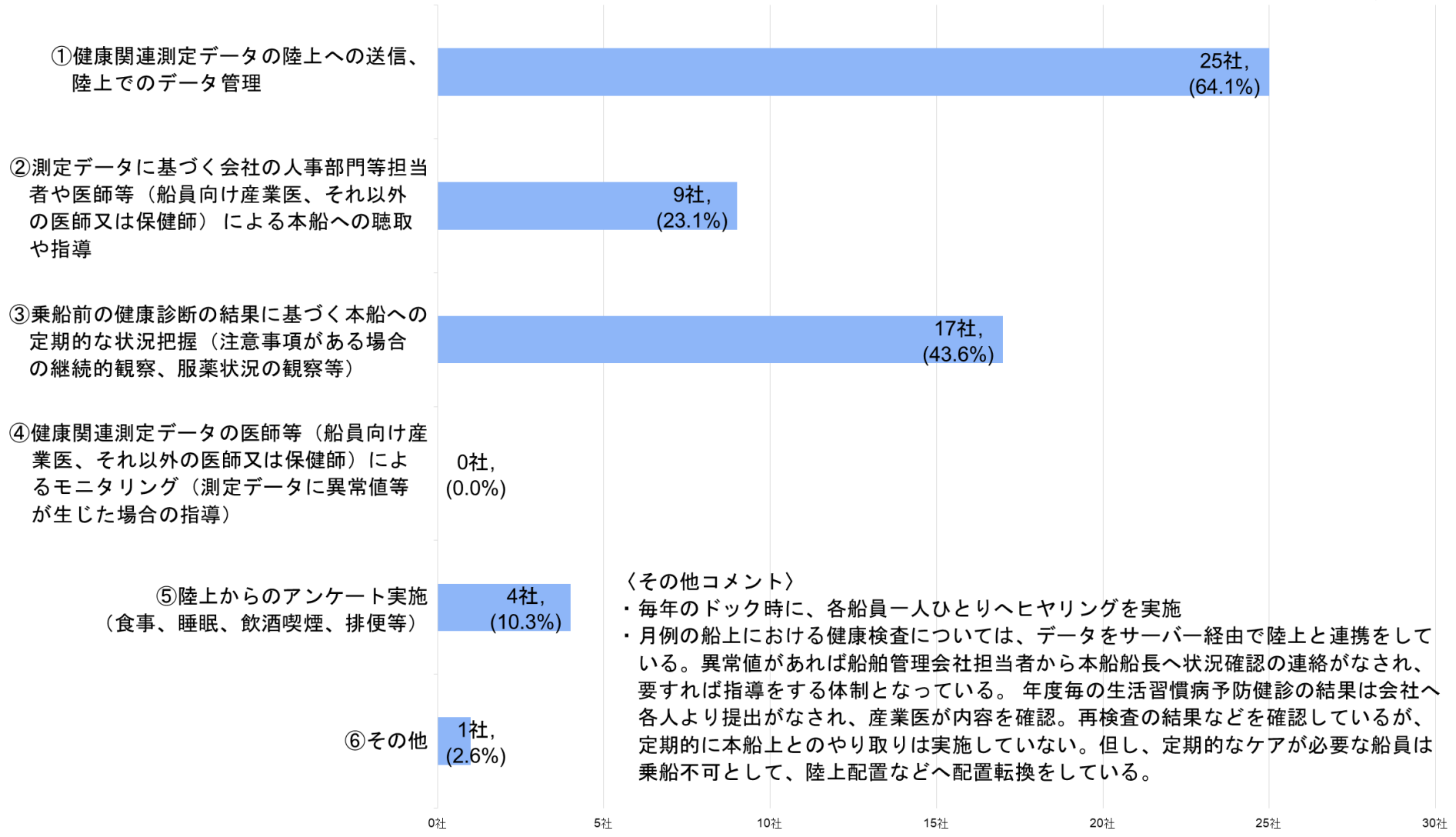


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その20)

質問22. 質問18で「連携している」を選択された方へお伺いします。御社での連携の内容や手法はどのようなものですか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：39社

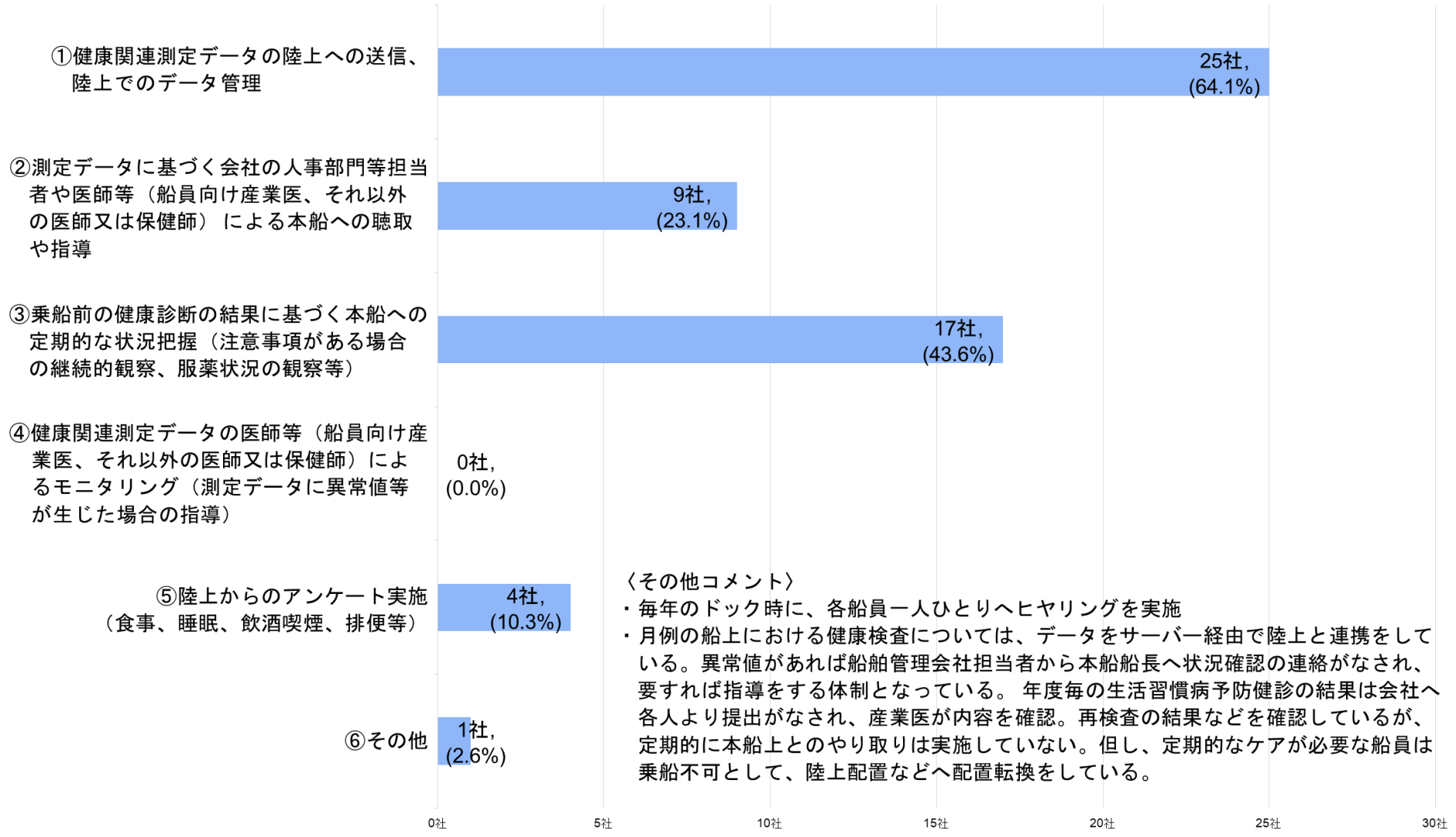


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その21)

質問22. 質問18で「連携している」を選択された方へお伺いします。御社での連携の内容や手法はどのようなものですか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：39社

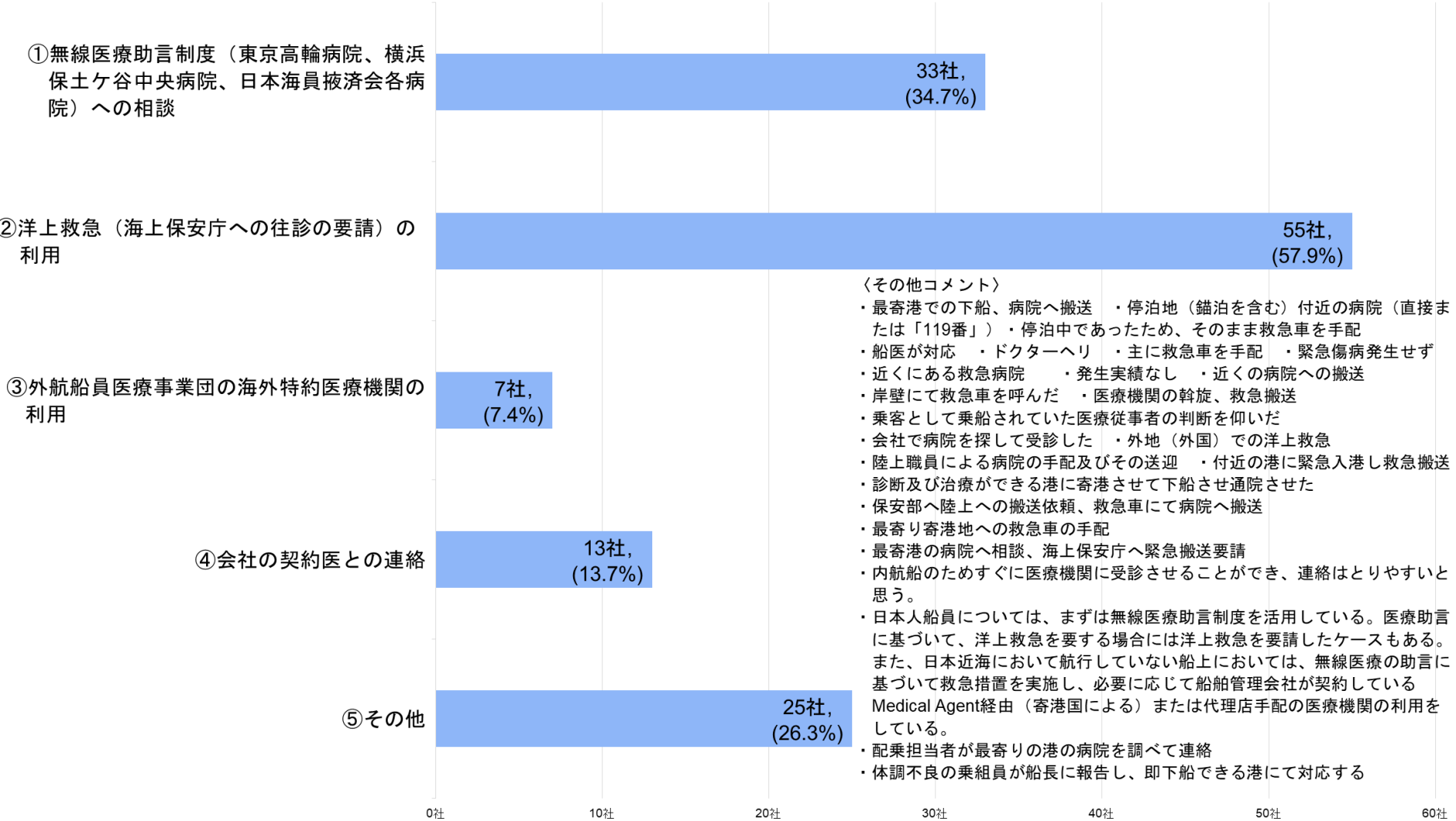


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その22)

質問24. 御社では緊急傷病の発生時の対応方法として利用した実績のあるものはどのようなものがありますか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

回答者数：95社

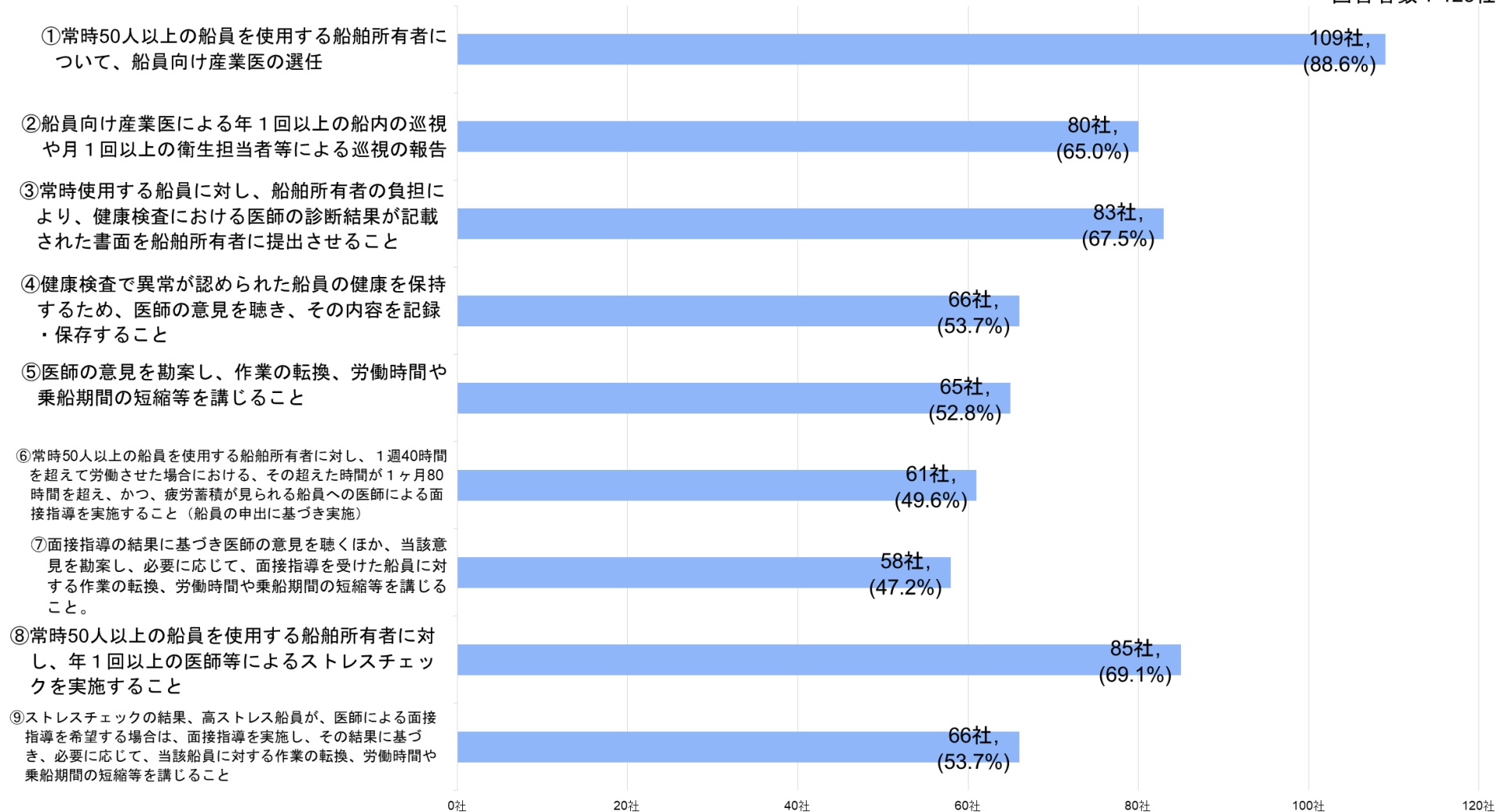


議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その23)

質問25. 船員の心身の健康確保を図るため、①産業医の導入、②健康診断のあり方、③過重労働対策、④メンタルヘルス対策に関する関係法令が改正され、2023年（令和5年）4月から施行されることになっています。以下の項目はこの法令改正により船舶所有者に対する義務として新たに導入されるものです。内容についてご存知の項目を選択してください。（複数選択可）

回答者数：123社



議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その24)

質問26. 作成するモデルの内容についてのご希望や提案(コメント)(その1)

- 船内構造や設備については、船種船型により大きな差異はなく、狭隘・閉鎖空間の特殊性についても基本的には同じです。オンライン診療の体制が整えば、陸上のコロナのオンライン診療と同様、船員の所在場所以外(他府県も含め)に勤務する「船の基礎、基本知識」を有する医師によりオンライン診療(当番制)も可能ではないかと思いました。各船社が産業医と個別に契約することが困難であれば、海上産業医センターのようなものを作って、そこが当番医を管理することによって、契約している船社の船員ならば、いつでも相談可能、というもの。全国津々浦々を移動する船員のための産業医も全国津々浦々という考え方。雇用船員を49人で調整する船社が出ないことを祈るばかり。
- リモートで巡視や指導を行うことにより、逆に船内における船員の作業が増加してしまうことがないモデルを作成頂けますと幸いです。
- 外国人船員用の英語の教材作成を行って欲しい。
- 海上においてそのような通信が可能なのか、とても疑問ながら法律に沿うためには対応していかねばならないので希望します。
- 船員は長時間の動画はなかなか見ようとしません。項目ごとに短時間の動画を視聴できるようにして欲しい。
- まず長時間労働にならないよう、オペレーターの協力その上荷主さんの協力はなければ、いくら自社で頑張っても無理なところが多々あります。
- オンライン訪船(巡視)の具体的な手順、チェックリスト等の整備。
- 産業医の選任、契約について、契約可能な開業医が多くないことから時間を要すると考える。
- 外国人船員に対応するものを作成して欲しい

議題 1. 各船社に対するアンケート調査の主な結果（報告）

(3) アンケート結果(その24)

質問26. 作成するモデルの内容についてのご希望や提案(コメント)(その2)

- 各社へ早めに展開していただきたい。
- 長時間労働については、船主ではなくオペレーターに指導して欲しい。
- 長時間乗船船舶と短期乗船船舶(日帰り船舶)との差別化
- インターネット環境が悪い(航行中陸側の窓越しor外でないとスマホが通じない、船内の隔壁に遮蔽され船内Wi-Fiが届きにくい、陸岸から離れるとそもそも繋がらない、港内で陸岸から近くても電波状態悪い場所もある、衛星電話は通信料が高額)であることが改善されないと、途中で通信が切断されてしまうなど、オンライン診療はそもそも困難である。
- 訪船が困難な産業医が、リモートによる表面的なアドバイス、または指導について、実のある対応ができるのか不安である。弊社のような短距離航路の旅客船は、緊急時における医療機関との連携は取れている。また個人で行きつけの医療機関を持っている。訪船が困難な産業医における期待感は薄い。
- データ通信の整備されていない船は多数あると推測されるので、高速通信を用いない形の巡視を求めたい。加えて、弊社においては日本に寄港しない本船が増えており、時差によってはオンラインとはいえ産業医の巡視は現実的でないことが多い。状況は承知していただきたい。
- 船員が体調不良を訴える1番の病症は腰の痛みです。長時間座っていたり、弊社ではクレーン(ガット)を使う船員さんの多くが腰痛で悩んでいます。また、様々な病気の要因となるのが片寄った食生活、或いは手間ひまかけないインスタント系の食事に頼りすぎて、添加物を長年にわたって摂取してしまうことからくる成人病にあると思います。腰痛の対策、食生活の指導等が盛り込まれてある動画を期待しています。
- 船員の働き方改革に続き来年度も産業医制度の開始、とにかく陸上部門の業務負担がここ数年で急増・逼迫しており、現場に対しても説明・理解がしやすくそれに時間が費やされる事のない簡潔な動画の作成を切に願います。